

比内

作業学習製品

ひたむきに ていねいに

真剣な眼差しと日頃の作業学習の成果を
ぜひ手にとってみてください。—— 比内支援学校 高等部

ここで「作」られるものは、あたたかい「いえ」に似ている。
雪国の壮麗な大地から生み出された恵み。人の手で脈々と受け継がれてきた地域の伝統。そこにもうひとひねり、新たな世代のアイデアと手仕事を加えて今を生きる人たちへ。そんな想いで、比内支援学校では地域に根ざしたものづくりをしています。先生は地域の人たち。みんなその道の達人です。プロの技は、あたたかく時には厳しく、丁寧に生徒たちに伝えられています。教え合いながら、でも真剣に。夢中になって、もくもくと。丁寧に、やさしさをこめて。いいものができて、笑顔がこぼれる。その取り組みは、さらに次の世代へと繋がっていきます。大切に手渡されてきた想いが詰まっているから、ひとつひとつが家の灯りのようなあたたかさ。かけがえのないぬくもりは、きっと手に取ってくださった方にもじんわりと伝わっていくでしょう。

石山デザイン事務所
デザイン・写真／石山拓真
文章／橋谷真子



www.ishiyama-design.com

プロから学ぶ本物の技と素材

～地場産業を生かした作業学習～



比内支援オリジナル「比内わっぱ～市松～」

大館の伝統工芸である曲げわっぱを学び、一つ一つ丁寧に作りました。湿気を吸ってくれるので、パンを置いたり、トレーにしたりといろいろ楽しめます。

ランプシェード「わっぱのこもれび」

わっぱの技法を使い、9枚のわっぱの間から灯りがもれるように作りました。杉のもつあたたかさが、杉林の木漏れ日のような癒やしの灯りになりますように。



秋田杉箸





「きりたんぼ鉢～とんぶりの釉薬がけ～」

大館名物のきりたんぼが似合うどんぶりを！の想いがこの製品になりました。どんぶりのどっしり感ととんぶりから作った釉薬の緑が特徴です。



とんぶりの刈り取り



「ふりーマグ」

「ふりーマグ」はふるさと返礼品用に開発しました。素焼きの部分を残し、たたらづくりでの限界まで薄く削って、使いやすい重さにも工夫を加えました。

「カップと三角皿」は「ハチ公カフェ」でも使用しています。カップは、持ち手の位置に配慮し、女性の指が二本入って落ち着く大きさに仕上げています。三角皿は、お菓子を置いたり、取り皿に使ったりと、使い方は自分次第。カップの白色は、比内支援学校田のわら釉薬で色づけしました。

「カップ 三角皿」



「切りぼし大根」

学校の農場で収穫した大根で作りました。お湯で戻してお使いください。



「達子森の小豆」

農場で収穫した小豆を一粒一粒、中学部の生徒たちが選別しました。砂糖不使用なので、自分好みの味にできるのも魅力です



バラへの挑戦

「えだまめケーキ」 「えだまめクッキー」

農場で収穫した枝豆を JA 様に納入してペーストにし、それを使ってケーキやクッキーの新商品を開発しました。



高等部キャラクター
ペジッピー



えだまめ
のまち
大館



桂桜高校生徒会のみなさんと
枝豆を植え付けしました

～地域と共に～

共同学習



西館小学校6年生のみなさんの枝豆
の植え付けをお手伝いをしました

秋田杉染め



秋田杉は凍える秋の冬を
遅く、そしてただまっすぐに
伸びていく。そのいたむきさを
布に染めあげました。

ストール



のれん

縫製班では、農場で栽培した草花を中心に使い、草木染めをしています。

また、大館市の農林課から杉の間伐材をいただき、杉染めの製品の開発も進めています。

ポーチ、コースター、タオルハンカチ、ボックスティッシュカバー
生活の中で、自然の風合いを楽しんでください。

「コースター」



「ポーチ」



「たおるハンカチ」



「ヘアゴム」





ひたむきにがんばる 総合サービス班

ハチ公カフェ営業実習・加藤茶舗
清掃作業・友愛ビルサービス



大館ハチ公小径で「ハチ公カフェ」を営業しております。昨年からは、ヌーヴェルヴァーグ様のランチも提供しております。お客様への心のこもったサービスを心がけます。お待ちしております。



ハチ公ブレンド
ドリップパック
250円



大館市ふるさと納税返礼品



大館市のふるさと納税返礼品として、作業学習製品を詰めた「秋田杉ふるさと食卓セット」を登録しています。

ご注文頂き、ありがとうございます



大館市長様にご報告しました。

ふるさと大館のよいところをギュッと詰めて、心を込めて、お送りします。

